

## 年金記録確認中央第三者委員会（第6回） 議事要旨

1. 日 時 平成19年7月9日（月）16時30分から17時40分

2. 場 所 中央合同庁舎第2号館 8階第1特別会議室

### 3. 出席者

（委員会）梶谷委員長、高野委員長代理、石井委員、衛藤委員、小澤委員、関口委員、中村委員、奈良委員、南委員、相原委員、内野委員、柏木委員、片岡委員、久禮委員、児島委員、庄司委員、鈴木暢委員、辻本委員、戸内委員、内藤委員、能田委員、橋本委員、松倉委員、丸山委員、本木委員、山岸委員、山本委員

（総務省）菅総務大臣、田村総務副大臣、大野総務副大臣、河合総務大臣政務官、関行政評価局長、新井審議官 ほか

### 4. 議題

- (1) 菅総務大臣挨拶
- (2) 委員の自己紹介
- (3) 年金記録に係る申立てに対するあっせんに当たっての基本方針案について
- (4) 部会の設置について
- (5) その他

### 5. 会議経過

- (1) 菅総務大臣から以下の趣旨のあいさつが行われた。
  - ・ 先ほど梶谷委員長から、「年金記録に係る申立てに対するあっせんに当たっての基本方針」に関するご意見をいただいた。委員長をはじめ10名の委員の皆様方には、精力的なご審議をいただき、委員会発足から2週間という短い期間で判断基準を含む基本方針についてのご結論をいただき、感謝。
  - ・ また、本日任命された20名の委員の皆様にはご多忙の中、年金記録確認中央第三者委員会の委員をお引き受けいただき、御礼。
  - ・ 今後は、新たに20人の委員をお迎えして、個別の事案についてご審議をいただきたい。個々の事案に対する判断は難しいものも多いと思うが、この委員会の判断がひとりひとりの年金額に関わる重大事。国民の期待に沿うためにも、安倍総理が先週の会見でおっしゃっていたように、「最後のお一人に至るまで、保険料をまじめにお支払いいただいた方々に、正しく年金をお支払いしていく」ことができるよう、公正なご判断をいただきたい。
  - ・ 年金制度は国家の基本に関わるもの。制度に対する失われた信頼を取り戻していくことが必要。皆様の御協力をいただき、ぜひとも年金に対する国民の信頼を回復していきたい。よろしくをお願いしたい。

- (2) 続いて、委員長から、以下の趣旨のあいさつが行われた。
- ・ 委員会に新しく加わっていただき感謝。また、まさに国の一大事ということで万障繰り合わせてご参加いただき感謝。
  - ・ 今回の年金問題は、国民ひとりひとりにとって切実な問題であり、基本方針を基礎として、ご尽力いただいて、第三者委員会ができてよかったと思われるような成果を出すべくご尽力いただきたい。
- (3) 年金記録に係る申立てに対するあっせんに当たっての基本方針案について事務局から説明を行った。
- (4) 委員会の運営について、以下のように決定した。
- ・ 基本部会、国民年金部会、厚生年金部会が設置された。
  - ・ 各部会に所属する委員が決定され、基本部会の部会長として梶谷委員長が、国民年金部会の部会長として奈良委員が、厚生年金部会の部会長として衛藤委員が、それぞれ指名された。
- (5) 次回については、委員会は未定。国民年金部会、厚生年金部会はともに、7月10日（火）に開催。

〔 文 責 : 事 務 局 〕  
〔 後日修正の可能性あり 〕